

夜の浜辺

天あまの五い百おえ重しらの白なみ波が

うち返かえしまた寄よせては返かえす

その潮騒うしなに

そつと耳みみを澄すませせてゐるのは

誰たれでせう

霄そらわたる月つきの御船みふねの揺ゆるゝみゆ雲うみの波間なみまに漕こぐをわすれて

波なみ花はなが

浜はまの砂すな子ごにこゝかしこ

白しろく咲さきむれてはかつ果はて

戯あそぶれては消きえゆく

その秘ひそけさにふるえてゐるのは

誰たれでせう

天あまの川がはおつる泪なみだの星ほしあかり息いきさへひそめ千夜ちよにまたゝく